

そこは見えない有刺鉄線に囲まれたリング
巧妙に仕掛けられた“ゲーム理論”の罠に、
立ち向かうのは5人のダンサー。許す身体、悪巧みする身体—
すくむ身体、絶叫する身体、残酷とユーモアのバトルを勝ち抜いた
ダンスの逆襲のために
今、試合のゴングが鳴る

国際共同プロジェクト

「A Scattered State of Silence」<逃げ惑う沈黙>

ア スキャッタード ステイト オブ サイレンス

2012.9.21 [金] 19:30開演 22 [土] 15:00開演/19:30開演 23 [日] 15:00開演 森下スタジオBst.

コンセプト・ディレクション：テッド・ストッパー 出演：川口隆夫、森川弘和、大塚啓一、貝和沙綾香、岩淵多喜子

チケット：全席自由 前売 一般3,000円/学生2,500円 当日 一般3,500円/学生 3,000円

Concept, Direction: Ted Stoffer; Performance: Takao Kawaguchi, Hirokazu Morikawa, Keiichi Otsuka, Sayaka Kaiwa, Takiko Iwabuchi
2012 Sep 21 fri, 19:30; Sep 22 sat, 15:00/19:30; Sep 23 sun, 15:00 at Morishita Studio(B), Tokyo

国際共同プロジェクト「A Scattered State of Silence」<逃げ惑う沈黙>

ア スキャッタード ステイト オブ サイレンス

作品ノート (テッド・ストッファー)

A Scattered State of Silence<逃げ惑う沈黙>は、
何か事件が起きた直後に体験するような、宙ぶらりんの混乱した状態。
それは、ある力の作用とそれに対する反作用、そしてその後に残るダメージ。
一瞬にしてどこかの別の場所に連れ去られてしまったような感覚。
すべての物質や肉体は消滅し、時間と空間の間にほころびが生じ、
もはや整合性さえ失われてしまうような、
私たちの意識をバラバラに分解してしまうような出来事、である。

——攻撃する、操る、模倣する、執着する、所有する、繰り返す、妬む、
自らを犠牲にする、話す、集団で行動する——
その合間に隠れるいくつもの層の〈シチュエーション〉〈動き〉〈状態〉、
そこに現れる〈人と人との関係〉から、この作品のインスピレーションを受けた。
世界は今、欲望の暴走を機にショック状態に陥ったまま、
未だその本当の厳しさを実感せず解決策の効果も現れていない、
<逃げ惑う沈黙>の状態だ。

このプロジェクトは、アーティストが動きかけ (アクション)、
反応する (リアクション) ことを通じて、
予測不可能な領域の中においてその関係を維持していく状態を、
様々なアートフォームを用いて分析、作品化していく。



国際共同プロジェクト

「A Scattered State of Silence」

本プロジェクトは、Dance Theatre LUDENSが07年より主宰している「東京国際ダンスワークショップ ReAction」のリサーチワークショップでの出会いと成果をもとに実施する、国際共同製作プロジェクト。ベルギー拠点のダンサー、振付家であるテッド・ストッファーとメンバーが人間社会に見られる様々な現象についてリサーチを重ね、2012年4月にワークインプログレスを発表。10月からの欧州ツアーに先がけて東京レビュー公演を上演する。

【欧州ツアースケジュール】

- 10/22 グランドシアターグローニンゲン (オランダ)
- 10/25 STUK芸術センター (ベルギー)
- 10/26 シャルロワダンス (ベルギー)
- 11/3 ロッテルダム州立劇場 (オランダ)



9.21 [金] 19:30開演

9.22 [土] 15:00開演 / 19:30開演 (終演後ポストークあり)

9.23 [日] 15:00開演

※受付は開演60分前、開場は開演30分前より。

コンセプト・ディレクション:テッド・ストッファー

共同振付・出演:川口隆夫、森川弘和、大塚啓一、貝和紗綾香、岩淵多喜子

MC:清野茂樹 演奏:ジャン-イヴ・エブラール

演出助手:岩淵多喜子 舞台監督:大畑豪次郎 照明:岩品武顕 映像:飯名尚人

音響:河田康雄 衣装:斉藤絵美 宣伝美術:江尻ひかる 宣伝写真:鹿島聖子

主催:Dance Theatre LUDENS

共同製作:Aphasia vzw、Grand Theater Groningen

制作:NPO法人魁文舎(花光潤子、松本千鶴)

助成:芸術文化振興基金 公益財団法人セゾン文化財団

公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団 JAPAN FOUNDATION 国際交流基金

Kunstencentrum STUK charleroi danses

テッド・ストッファー (TED STOFFER, ベルギー/ブリュッセル)

体操、ジャズ、バレエを経て、コンテンポラリーの世界へ入り、バレエ・セー・ド・ラ・ベ、サシャ・ヴァルツ他でゲストダンサーとして踊る。95年より自らカンパニーを主宰・振付を行い、世界各地のメジャーなダンスフェスティバルと提携アーティストとして作品を発表し国際的に高い評価を得ている。近年はインスタレーションを用いたパフォーマンスにも取り組む。08年にはバレエ・セー・ド・ラ・ベのプロダクションとして新作を発表、リヨンビエンナーレをはじめ、ヨーロッパの主要なフェスティバル等にて上演、好評を博す。ヨーロッパにおける注目株の若手振付家である。指導者としてウルティマ・ヴェス、ローズ、サシャ・ヴァルツ&ゲズ等々世界のカンパニークラスを指導。東京国際ダンスワークショップReAction講師。



川口隆夫

90年よりダンスカンパニー「ATA DANCE」を共同主宰。96年からダムタイプに参加している他、独自にソロ活動を展開。特に03年以降は音楽とアートの領域をまたぐ作家達とのコラボレーションを行っている。08年よりソロパフォーマンスシリーズ「a perfect life」を継続中。また藤本隆行(ダムタイプ)白井剛(AbsT/発条ト)とのプロジェクト「True/本当のこと」に参加するなど、多岐に渡り舞台活動を展開している。



森川弘和

22歳で渡仏しマイムとサーカスを学ぶ。帰国後、Monochrome Circusのダンサーとして5年間活動。07年よりフリーとなる。瞬発力と動物的な動き、技群のボディーバランスを生かした動きで注目され、自身の作品を発表する他、カンパニー・デラシネラ、Dance Theatre LUDENS、じゅんじゅんSCIENCEなどのプロジェクトに参加。ドライであり、かつ動物的な感覚をもつパフォーマンスは、出演する作品の中で高い評価を得ている。



大塚啓一

1967年12月7日千葉県出身、179cm、70kg。89年〜94年マイムを学ぶ。95年よりダンスを始める。これまでにDance Theatre LUDENS作品の他、コンドルズ(近藤良平)、カンパニーL.S.D.S.(日玉浩史)の活動を中心に、三宅冨子、日野兎、坂東眞彌、スカルジャスリマン、ルイズ・ベダール、松本大樹、手塚夏子、佐藤秀浩などの作品に出演。05年以降は平敷秀人の作品に継続的に参加している。



貝和紗綾香

アメリカハンプシャー大学にてダンスを専攻。卒業後ニューヨークで一年学び、ベルギーブリュッセルのPARTSのリサーチ過程に進学。06年卒。以来ブリュッセルを拠点にヨーロッパ各地で数々の振付家、舞台演出家の作品にパフォーマーとして参加している。2010年テッド・ストッファーと共に「Rencontres des imbéciles」を共同制作した。



岩淵多喜子

ラバンセンターにてコンテンポラリーダンスを学ぶ。ダンサーとして、エルベ・ロブ、テッド・ストッファー等のプロジェクトに参加後、99年 Dance Theatre LUDENSを設立。以後LUDENSの全作品の演出、振付を行う。代表作として「Be」「Distance」「Against Newton」等。「Be」にて横浜市文化振興財団賞、フランス大使館賞、「Distance」にて舞踊批評家協会新人賞受賞。近年はカンパニーの活動の他、海外のアーティストとの共同製作、東京国際ダンスワークショップReActionのプロデュース等、ダンスを軸に様々な活動を展開している。



清野茂樹/ゲストパフォーマー (MC)

小学2年生の頃よりテレビのプロレス中継に夢中になり、プロレスごっこでは常に実況アナウンサー役を担当する。大学卒業後の96年に広島エフエム放送に入社。アナウンサー、音楽ディレクターとして数多くのラジオ番組の制作に携わる。06年よりフリーに転向。プロレスと格闘技の実況を中心に、CMレーションや司会などで幅広く活動中である。特技は「圧倒的な」記憶力。



ジャン-イヴ・エブラール/演奏 (JEAN-YVES EVRARD, Saint-Omer/フランス)

1967年生まれ。リエージュ、ブリュッセル、アムステルダム音楽院でヘンリー・ブースール、フレデリック・ジャフスキー、ギャレット・リストとジョージ・オクターのもと音楽(ギター、作曲、室内楽や即興)を学ぶ。87年以来、多くの芸術家と演奏/作曲活動を行っている。一例:テッド・ミルトン、アンサンブルミュージック ヌーベル、ジョン・ケージ、ミシャ・メンゲルベルク、クリス・デフォート、杉本拓、パスカル・コム・ドラウエ、マウリツィオ・オカーゲル等。その他数々の劇作品の作曲、演奏に参加している。

チケット 日時指定・全席自由

【前売】一般 3,000円 / 学生 2,500円 【当日】一般 3,500円 / 学生 3,000円

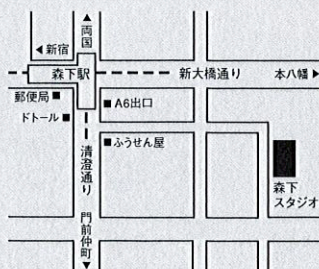
※前売学生券のお申込みは、JCDNダンスリザーブ・魁文舎のみ取扱い・当日学生証提示要

チケット取扱い ◆e+ (イープラス) <http://eplus.jp/> (PC・携帯)

◆JCDNダンスリザーブ <http://dance.jcdn.org/> (PCのみ)

お問い合わせ ◆魁文舎 [KAIBUNSHA]

03-3275-0220 info@kaibunsha.net www.kaibunsha.net/



森下スタジオ

www.saison.or.jp/studio/
〒135-0004 東京都江東区森下3-5-6
TEL.03-5624-5951

- ◎地下鉄都営新宿線・都営大江戸線「森下駅」A6出口 徒歩5分
- ◎東京メトロ半蔵門線・都営大江戸線「清澄白河駅」A2出口 徒歩10分